70年代権力闘争に向けて地区共闘を打築せよ!

3月自衛隊沖縄派兵実力阻止闘争に勝利せよ!

全ての明[illegible]の学友諸君!
日本階級斗争の一定程度の混乱と停滞に対して
ブルジョアジーはさらに攻撃的な政策をなすこと
によって再編・統合攻撃を強行せんとしている。
全ての明大の学友諸君!
自衛隊[illegible]の沖縄派兵がその
[illegible]日程化されている
[illegible]ところの自
衛隊[illegible]に続く、尖兵
[illegible]機関を名目とした兵力である。それは明らかな
に自衛隊の帝国主義軍隊化への道として存在
するであろうし、日本帝国主義が本格的なア
ジア侵略への[illegible]を日程に上らせている
ことを示している。またこれは日本帝国主義、
が日米共同声明に基づく日・米・韓・台の反革命
の強化と同時にアジアの盟主として登場せん
とする姿に他ならない。このことはアメリカ
帝国主義のベトナム戦争の否定的展開の中で
日米反革命同盟=安保の強化を通じてアジア
解放斗争への具体的な登場にほかならない。
・国内においては[illegible]の再編を労働Mの右翼的
再編としてなしとげ、まさに帝国主義労働運
動を確立し、これのヘゲモニーのもとに全ア
ジア労働Mの再編統一としてもちこみ海外労
働力の確保と布石を目指しており、在日アジ
ア人への抑圧と差別を強化し、外国人一般の
政治活動の規制、いわゆる入管体制の強化と
して立ちあらわれている。であるが故に沖縄
斗争の展開が個別課題と並列的に語られては
ならず、日本帝国主義のアジア支配再編の要
・第一歩として沖縄返還である以上、我々の
3月から72年への斗いの基軸は沖縄の日本帝
国主義の介入粉砕・米軍政打倒・米軍基地撤
去の斗いとして組織していくことである。こ
れは日本帝国主義の[illegible]路線との対決を必然と
している。

全ての学友諸君!
我々の任務は、70年代における全アジア人民の解放
斗争への我々からする答であり、アメリカ帝国主義
に最後の鉄槌を加え、アメリカ内外人民のみなら
ず、大学斗争[illegible]からの呼びか
けである。しかしながら一貫の階Q斗争は入管決戦
と語られると思えばその工程が延期され政治斗争
たりえなくなるや、沖縄へと乗り移り開始せんと
している。69年秋の敗北過程は我々に現実の階Q斗
争の実体を迫った。68年の全国学園斗争の高揚
は明らかに、国家がその共同幻想のうちに市民社
会を包摂し切れなくなり、それ故不断に国家からす
る行政権力の介入化として立ちあらわれ、不断に市
民社会からの脱落分子を生みだしそれが社会反乱と
して現出したのだ。69年の秋において我々に問われ
たのはそういった大衆反乱の暴力を手段の暴力へと
如何に組織していくのかが問われたのだ。

全ての学友諸君!
今日的に我々に問われている課題とは、新たな大衆
暴力反乱の創出と武装[illegible]の建設を階Q斗争の
深部において追求することである。我々は対権力斗
争の抵抗武装を推進し敵の破壊へと進撃し、
それはまさに中央権力斗争へ斗争として展開し
てゆかねばならない。
今日的な革マル派[illegible]として登場し、彼
らが一切のこうした大衆反乱の質を理解すること
ができず、他党派にくっついて、自己=革マ
ル派の同心円的にほんろうしている。こういっ
た革マル派を我々の手で粉砕し、70年
代 権力斗争を地区共斗を中心とする中で、暴力斗争
でヤカラ[illegible]主義的[illegible]!!

明大全学評